

< 5月第1例会報告 >

One Camp について

会長 田辺征一

この夏、YMCAは新たな試みとして余島野外活動センターで5泊6日の“One Camp”を企画している。今回は、One Camp 実行委員会のメンバーで



ありリーダーでもある越生寛子さんにお話しをお伺いしました。当日は、同じく学生ボランティアリーダーの竹内文乃さん、河崎真莉菜さん、古川由布子さん、One Camp 学生リーダーの補佐役を勤められている大岩雅典ワイズ(芦屋クラブ)も出席された。

このキャンプは、健常者・障害者を問わず異なる境遇で過ごす若者たちが生活を共にすることにより、価値観の多様性に気づき受容する社会の一員となることをミッションとしている。1+1は必ずしも2ではなく、ある時は1であり、ある時は無限であることに気づくことを！

このキャンプでは次の7つのゴールを目指す。

1. 全人教育 developing the whole child
2. 人格形成への援助
aiding in character development
3. リーダーシップの向上 developing leadership
4. 良い市民性への教育 teaching good citizenship
5. 健康を促進
promoting good health and physical fitness
6. 自然への畏敬の念の育み
developing appreciation of nature
7. 自省と自立の促進 encouraging independence
and the ability to think of oneself

最後に3人のリーダーたちに One Camp への思いを語ってもらったが、純粋で一途な彼女たちのキャンプへの思いにクラブとして十分答えられるのか一抹の不安を覚えた。

One Camp 構想は突然出てきたが、そのいきさつはどうなっているのか？余島ではこの夏も多くのキャンプが企画されているが、それらと One Camp の位置づけはどうなっているのか？実行委員会では多方面での協力パートナーを募集しているが、ワイズメンがどのように関われるのか？など、不明な点もあるように思われた。

< 6月第2(事務)例会報告 >

書記 野呂 隆

日時：2018年6月7日(木) 19～21時
場所：西神戸YMCA
出席者：佐伯、杉本、達、田辺、長坂、中村、野呂、藤井(信)、藤井(久)



1. 報告事項

- (1) 広島・西宮・近江八幡クラブ 70周年記念合同例会 5月12日(土) 11:30～ ホテルヒューイット甲子園
参加者：杉本、舘、田辺、中村、野呂
総勢160余名の参加で記念式典と懇親会が行われ、懇親会ではソプラノとバリトン歌手のデュエットで、オペラの歌曲、日本の童謡、唱歌などが披露され、安らいだひとときを過ごした。
- (2) 第21回西日本区大会議事進行説明会 5/25(金) 神戸YMCA
1回目 15時～18時、2回目 18時～
参加者：佐伯、杉本、田辺、長坂、中村、野呂、藤井(久)

2. 協議事項

- (1) 西日本区大会の件
 - ・6/5現在、登録者総数765名。
当クラブの参加予定者：杉本、佐伯、田辺、中村、長坂、野呂、藤井(信)、藤井(久)
 - ・6/9は8時集合、フロント班担当 藤井(久)、中村、野呂、佐伯、長坂
 - ・物品販売ブース出店の申し込みを行った。
 - ・岡山クラブとのDBC締結式後の懇親会は、6/10の大会閉会後に行う。
- (2) 当クラブ25周年記念例会の件
クラブの中で開催についていろいろな意見があり、今後調整する。
- (3) 大津善旦ワイズ退会の件
この数年体調の関係で例会を欠席されており、ご本人からの申し出を受けて、やむを得ず退会を了承することとした。
- (4) 今後の例会予定：
 - ・6月21日(木)「今期の評価と次期の計画」
 - ・7月19日(木)キックオフ例会「私のワイズ人生」三浦克文ワイズ(岡山クラブ)卓話
 - ・8月5日(日)学園夏まつり
 - ・9月20日(木)山本智子氏(いっくんのママ)卓話
 - ・10月20日(土)西神戸YMCAワイワイまつり

- ・11月3日(土) 神戸YMCAチャリティーラン
- ・11月8日(木) 公開例会・卓話
関 啓子氏(三鷹高次脳機能障害研究所所長)
「伝えたい、脳卒中とその後遺症」
- ・2月(予定) フルート演奏会
演奏者: 河合久美子ワイズ(京都ウエスト)、
吉田由美ワイズ(大阪なかのしま)

3. 今後の西日本区・六甲部行事予定

- ◎ 6月23日(土) pm2:00~5:30 さんだクラブ 25
周年祝会 三田市総合文化センター ¥4,000
参加者: 杉本、田辺、中村、野呂
- ◎ 11月10日(土) 12:00~ 大阪クラブ 70周年記
念例会 大阪YMCA会館 ¥6,000

<西日本区大会・DBC 交流報告>

六甲部会計 藤井久子

今期の西日本区大会は、「すこやか、しあわせ、ワイズとともに」というテーマで六甲部がホストで開催されました。



6月8日(金)は、芦屋カントリークラブでのゴルフコンペと18時から北野ガーデンでの前夜祭

6月9日(土)は、9時から役員会・準備役員会、代議員会、メネットアワーを午前中に終え、午後の大会は、神戸YMCA ベルクワイアーによるハンドベルの繊細な演奏から始まりました。

バナーセレモニーでは、進藤啓介西日本区書記がリジョン旗を、大野勉西日本区理事がギャベルを、山田滋己理事事務局長が聖書を持たれ、桑野友子西日本区会計、井内朋博神戸ポートクラブ会長が理事ホームクラブバナーを持って入場されました。続いて各部部長、クラブ会長がバナーを持って入場し、バナーセレモニーが終わり、3月28日に亡くなられた檜木善隆ワイズも紹介されたメモリアルアワーで式典は終わりました。

長田高校合唱部による演奏。続く基調講演は、「私とスペシャルオリンピックス活動」との演題でスペシャルオリンピックス日本理事長・有森裕子氏のお話でした。

各部部長さんによる今期の部の活動報告などが限られた時間内で途中パソコンがフリーズしてしまう場面もありましたが、何とか無事終了しました。

17時45分からは、神戸ポートクラブとチェンライクラブ(タイ)とのIBC、鹿児島クラブと宝塚クラブ、岡山クラブと神戸学園都市クラブと2組のDBC締結式が9階メリッサ

で行われました。



19時からの懇親会では、オープニングとして鳩政宗(5人の若者)によるカントリーの演奏。主任の皆様によるコントがあり、再度鳩政宗の演奏と西宮・芦屋クラブ有志によるカントリーダンスがありました。神戸らしい文化として南京町獅子舞を『神戸華僑総会舞獅隊』のメンバーによる龍踊(2人一組で1頭の龍を踊る)。龍に噛まれますと『無病息災・商売繁盛』等といった験を担ぐと言われていきます(私も噛まれました)。会場内のテーブルの間隔が狭く、なかなか龍が前には進めず、舞台上で鳴り物を鳴らし続けでお疲れ様でした。



6月10日(日)9時から聖日礼拝、例年の西日本区大会の聖日礼拝より参加者が多かったように感じました。お祈りの一箇所を私は担当し緊張しました。その後、表彰と役員引継ぎ式で大会を無事終えることができました。

大会後、昨日DBCを締結したばかりの岡山クラブの皆様と東京武蔵野多摩クラブの宮内氏、山口氏、東日本区事務所の小山氏とDBC交流で北野のイタリアンレストランで昼食、まずビールで乾杯の後は、ワインを飲みながら、サラダ、ピッツァ、スパゲッティ等を食べながらの交流。瀬戸山陰部の評議会があった為、岡山クラブの長寿会長、三浦区報編集委員長は、食事は間に合わず、珈琲のみ。

次に場所を『北野工房』(元北野小学校)に移し、買い物をしたり、珈琲タイムをしたり、ソフトクリームを食べたり。長坂メンは、日本酒をお買い求められました。

秋には、余島(小豆島)での交流会を約束し、東日本区のメンバーは JR 元町・三宮駅方面へ、岡山クラブのメンバーは、ANA クラウンプラザホテル方面へ分かれて、それぞれお送りしました。



< 今月の聖句 >

わたしはアルファであり、オメガである。
最初の者にして、最後の者。初めであり、終わりである。

「わたしはアルファであり、オメガである。最初の者にして、最後の者。
初めであり、終わりである。」

(ヨハネの黙示録 22 章 13)

「ヨハネの黙示録」は新約聖書の最後に置かれた書。著者のヨハネが誰であるかは特定されていない。「黙示」とは、ギリシャ語の「覆いを取る」から転じて「隠されていたものが明らかにされる」という意味。教会に対するローマ帝国の迫害が激しさを加えつつあったときに、苦難にさらされている信徒に慰めと望みを与えるため、イエス・キリストから受けた啓示としてキリストの再臨が近いことが語られる。

この黙示録の中で三回くり返される「わたしはアルファであり、オメガである」は、神あるいはキリストの自己宣言。アルファはギリシャ語アルファベットの最初の文字であり、オメガは最後の文字である。「初め」は時間の始めと言うだけでなく、「起源」「根源」という意味を含み、「終わり」は時間の終わりと言うだけでなく、「完成」「永遠」という意味を含んでいる。だから「私は創造の始めから終末の終わりまで存在し、支配する」の意になる。

～ 齋藤 孝 著 「声に出して読みたい新約聖書」 草思社より ～